



MEET

THE DRIFTERS

1967~1970

MEET THE DRIFTERS 1967~1970

よい子は見ちゃダメ！！ 内ゲバ！ 造反！ ナンセンス！

志村けんがまだドリフにいなかった頃、いかりや長介の髪はまだまだふさふさだった…。そしてよい子が喜ぶTV「8時だヨ！全員集合」以前のドリフは、どこかSMだった。リーダーのいかりやが、メンバーに要求するのは「忍耐！服従！献身！」…いやもう、その当時のいかりやのサディスティックで不気味なこと。いかりやの苛酷なしごきに加藤茶はオタオタと嘆きまわり、荒井注は常にふてくされ、仲本工事は思考停止状態となり、高木ブーはオロオロと泣き歩く…その周りを大原麗子や松岡きっこや中村晃子といった(当時の)威勢のいいお姐ちゃんたちが超ミニスカで跳ね回ったりして…そんなマゾなシチュエーションの下、加藤茶以下のメンバーが考えてること—いつか、いかりやに復讐してやる、エコエコアザラク、エコエコアザラク—だから、ドリフターズの作品作品は日本映画界の呪われたシリーズ(C種買先生)ちゅうわけ。そんなSMで、内ゲバで、造反で、暗天気で、とほほのコメディを今、笑うか、泣くか!?何はななくとも全員集合だい!



1/28 (土) ~31 (火)
ドリフターズですよ！前進前進また前進 (東宝/67)

監督/和田嘉訓 脚本/松木ひろし
共演/大原麗子 酒井和歌子 スマイリー小原
ドリフ全員が、大原麗子に食われまくった珍作。いやあそれにしても若き日の麗子さんってば、凄いなだから！超ミニスカで、パープーで、フランス国家をアニメ声でわめきちらす…これ見たら、飯島要なんて修行が足りませんでしたって、引退するだろうな。ポップでヒップでファンキー！でも麗子ファンは確実に夜、うなされるだろうなあ。

2/1 (水) ~3 (金)
なにはなくとも全員集合！！ (松竹/67)
監督/瀧辺裕介 原作/田波靖男 脚本/石松愛弘・瀧辺裕介
共演/三木のり平 中尾ミエ 古今亭志ん朝
小さな温泉町を舞台に、バス会社と鉄道会社が客を取り合って大騒動！ベテランのり平の助っ人。マドンナ役の中尾ミエ(ゲゲゲ)。ギャグ満載。「スピード」に匹敵するか、オホホのホの時限爆弾ギャグ、バス暴走ギャグ!

2/4 (土) ~6 (月)
やればやれるぜ全員集合！！ (松竹/68)
監督/瀧辺裕介 脚本/森崎 東・瀧辺裕介
共演/松尾嘉代 木の实ナナ
3作目で、見事お正月映画に昇格。脚本に重喜劇の鬼才(「釣りバカ日誌スペシャル」って見た?) 森崎東が参加。「全員集合」シリーズの中の傑作の一本、という説もあり。松尾嘉代おばさまの、若き日の純情ヒロインぶりに驚く…かな?

2/7 (火) ~9 (木)
ドリフターズですよ！ 冒険冒険また冒険 (東宝/68)
監督/和田嘉訓 脚本/松木ひろし
共演/野川由美子 小山ルミ 真理アンヌ
全学連(マルカク派だっ!)に角材を売る、半学連浪人派なんてのが登場したり、てへへのへのボディペインティングとかアングラ劇団とか…当時の流行りもんが競々出現。コント55号も顔見せてるぞ…と。



2/10 (金) ~12 (日)
いい湯だな全員集合！！ (松竹/69)
監督/瀧辺裕介 脚本/森崎 東・瀧辺裕介
共演/生田悦子 早瀬久美 三木のり平
対する瀧辺監督の方はおどろおどろしく、モーレッツ！脚本はふたたび森崎東。この二人が組むとモツ銅にキムチで…温泉町を舞台に、ハードボイルドに生きようとするドリフという内容。意味不明なあ。タイトルも何のこっちゃ…主題歌は有名なアレです。

2/13 (月) ~15 (水)
ミヨちゃんのためなら全員集合！！ (松竹/69)
監督/瀧辺裕介 脚本/田坂 啓・瀧辺裕介
共演/倍賞美津子 松岡きっこ ハナ肇
ミヨちゃんは、バイショウづくりの妹の方が演じております。ここいらから、いかりやのキャラがますます不気味になって…世間に徹底的に痛められたいいかりやが、お返しに加藤茶を自殺に誘って…こ、怖い。

2/16 (木) ~18 (土)
ドリフターズですよ！ 全員突撃 (東宝/69)
監督/和田嘉訓 脚本/佐々木 守
共演/梓みちよ ジュンとネネ 内田裕也
脚本に大島渚作品とか「ウルトラマン」とか、現「知ってるつもり」とかの佐々木守が参加。(部分的に)無声映画のドタバタ喜劇の味をネラっている。少女ビビちゃんとドリフの追っかけはルイ・マル「地下鉄のザジ」!? 和田監督って、結局こういうスマートでメルヘンな喜劇を作りたかったのね…の佳作。

2/19 (日) ~21 (火)
ズンドコズンドコ全員集合！！ (松竹/70)
監督/瀧辺裕介 脚本/田坂 啓・瀧辺裕介
共演/田子の浦親方 中尾ミエ 野川由美子 兵戸錠
タイトルを口に出して読んで下さい。はい、これであなたもパープー。でもこれ、アナーキーな傑作という声が高い。その男凶暴につきのいかりや、今回の役名もとうとう敗吉となって、メンバー一同をネチネチとシゴキまくり…負けてはならじと加藤茶もいかりやをグリグリいじめ返す。いやあ、メルヘンですわえ。

2/22 (水) ~24 (金)
誰かさんと誰かさんが全員集合！！ (松竹/70)
監督/瀧辺裕介 脚本/田坂 啓・瀧辺裕介
共演/若下志麻 倍賞美津子 早瀬久美
「極妻」シリーズやTV「夜に抱かれて」でオッカナくも、どっかへんな志麻さんもこの頃は松竹の看板女優。そんな大スターを迎えて、ドリフ映画も要と感動の文芸大作化した…なんてことは全くなくて…志麻さんからと、メンバーが陥って出したラブレターを真に受けたいかりや。盛大な披露宴を聞いたものの、途中で陰謀だと気づき、メンバーを凶悪な眼でにらむ。あとは怖すぎて、か、書けない。かくして、演と屈辱のドリフ特集は一応お終い。いやあ、寒い夜に見ると、心がほかほかと暖くなるシリーズだな、こりゃ…。

(北里宇一郎)

1/28 (土) よりレイトショー

連日 9:00PMより

料金 1,300円 (一般) / 1,100円 (学生)

前売 1,100円

(前売券は劇場、プレイガイド、チケットぴあに発売)

KINEMATOGRAH

中野武蔵野ホール

〒164 東京都中野区中野5-60-11

☎03(3389)3301